

種別	質問	回答
地域クラブの確保見込みについて	地域クラブの確保状況はどうですか。保護者が地域クラブを立ち上げ、こどもの活動場所を確保することは現実的に困難だと思われますが、立上見込みがあって、移行時期を決定されたのですか。	地域クラブがどの程度立ち上がるかは、今後公募を実施していくため現段階では示すことができません。近隣自治体の状況は参考になると考えており、市内でも生徒数が多い地域では、比較的立ち上げクラブは出てくると見込んでいます。また、地域クラブとして活動したいという相談も受けており、一定の立上げ意向はあると考えていますが、ある程度地域格差は生じると予想しています。他自治体の対策等も参考としつつ、できる限り地域差が出ないように調整を進めていきます。移行時期の設定は、近隣市町の状況と足並みをそろえなければ、格差が出てくると考え時期を設定しました。
地域クラブの確保見込みについて	地域クラブ数が少なく、定員を超えた申込がある場合、入部できなくなったこどもたちはどうなるのですか。	地域クラブの応募状況に合わせて、今後実施を予定している調査結果により、こどもたちのニーズの見込みを見ながら地域クラブの配置調整は行っていきたいと考えており、できるだけニーズに対応していきたいと考えています。
地域クラブの確保見込みについて	今後、地域クラブが随時立ち上がっていった場合、生徒や保護者にはスクリレなどで周知されますか。	周知は学校を通じて、またスクリレ等を活用して行っていきます。
地域クラブの確保見込みについて	地域クラブの活動場所は1種目につき1か所のみですか。それとも、複数の場所にできるのでしょうか。	地域クラブの応募状況にもよりますが、種目により異なると考えます。また、同じ施設に同じ種目が2つ活動している場合は、生徒の取り合いとなることも想定されるため、地域偏在を抑制するためにも、ある程度市内をブロック分けして活動場所の調整は行っていく予定です。児童生徒のニーズ調査を実施しているため、調査結果により、地域クラブの配置も検討していきたいと考えています。

種別	質問	回答
地域クラブの確保見込みについて	サッカーや野球などの既存の民間クラブが、かこ☆くらへ登録する可能性がありますか。民間クラブが登録した場合のメリットやデメリット、またこどもたちにとってのメリットデメリットはどのように考えていますか。	既存する民間クラブが、かこ☆くらへ参画する可能性はあります。かこ☆くらは営利事業ではないため、営利を目的とした既存クラブは、現在の参加費とかこ☆くら移行後の参加費の調整等が必要な場合も考えられますが、現在、指導者等が無報酬で指導している団体はスムーズに移行できるのではないかと考えています。かこ☆くらに参画するメリットとして、少子化の影響もあり、どのスポーツや文化団体も競技人口（実施人口）が減少している現状に対し、人口の増加につながる可能性があり、また、学校を通じて生徒を募集できる点もメリットと考えています。こどもにとっては、部活動がなくなり市全域で活動種目を選択できることはメリットであると考えます。
地域クラブの確保見込みについて	現状において団体がいない場合、個人が集まって新たに地域クラブを立ち上げることも可能ですか。	可能です。
地域クラブの確保見込みについて	部活動で優秀な成績を残した顧問から指導を請いたいと考えていますが、当該顧問が地域クラブでの指導を行わない場合は、指導を受けられないのですか。	地域クラブにおいては、これまでに優秀な成績を残した教員が必ずしも今後も指導を希望されるとは限りません。
地域クラブの確保見込みについて	希望する種目が通える範囲にない場合は、活動を諦めるしかないのですか。	かこ☆くらは、放課後や休日の過ごし方における一つの選択肢であって、民間クラブも同様であることから、その中からどの活動を選ぶのかご判断いただくことになります。市としては、できるだけこどもたちのニーズに応じ、地域クラブの受け皿確保に向けて調整を進めていきます。

種別	質問	回答
地域クラブの確保見込みについて	かこ☆くらに登録する地域クラブは、都市部に集中するのではないかと考えています。都市部から外れている地区は、あまり地域クラブが立ち上がらないのではないかと心配しています。かこ☆くら地域クラブは、ある程度の地域クラブを中学校区ごとに確保するイメージなのですか。また、その見込みはあるのですか。	先行している自治体の状況を見ても、人口が少ない地域では地域クラブが少ない状況があります。加古川市も同様に地域偏在は出てくるものと予想しています。これからの募集にあたっては、段階的に公募を行っていく予定で、秋の公募以降、地域クラブの少ない地域に絞って募集を行うなどにより、地域偏在が少なくなるよう、工夫して募集を行っていく予定です。 中学校区ごとに確保していくことは、こどもの数からすべてのクラブの持続可能性が難しくなるため、市内をエリアに区分し、エリアごとにクラブの配置を検討しながら、こどものニーズに対応していきたいと考えています。
地域クラブの確保見込みについて	先行種目の募集とともにその他の種目も募集して、精緻な情報ではなくてもどんな場所にどんなクラブができそうだということが少しでも見えれば、こどもたちや保護者も少し安心できると考えますがどうですか。	令和9年度からの本格実施分については、現時点の予定ではありますが、今年度中に募集を前倒しして開始することを考えています。募集した後に具体的な場所の調整等を行うため、精緻な情報としては難しいですが、応募状況等も随時情報発信していくことも考えています。また、直接お問い合わせ頂ければ、どのエリアでどのような種目の応募があるかなど、個別に対応することも可能と考えています。

種別	質問	回答
地域クラブの確保見込みについて	地域ではスポーツを教えることを仕事にされている方が一定数おられます。かこ☆くらは営利活動を禁止していますが、営利のクラブも実施しながら、営利活動ではないかこ☆くらのチームも追加で立ち上げるにはハードルがあるのではないですか。競技性を極めたいなら、大元のクラブに入るよう勧誘されるのではないですか。また、地域クラブをボランティアで教えてくれる人は少ないのではないかと。こども達の何かしたいという声に保護者が動いて立ち上げるクラブも想像はできるが、継続性という点からかこ☆くらになじまないとするなら、事務局としてどのような受け皿をイメージされているのですか。	スポーツの指導を生業にしている指導者の方も、民間企業が通常の営利活動とは別で、かこ☆くらを別会計として立ち上げていただくこともあると思われますが、営利として営まれる民間のクラブとかこ☆くらは、区分して考えていただく必要があります。また、年間の支出に対して収入の方が多く残余金が生じた場合に、指導者で再分配したり、大元の営利企業の会計に組み入れることは認めない考えです。その意味でボランティアだけでなく、必要経費としての謝金は受け取っていただいて問題はありません。 また、地域クラブの継続性は大切であると考えていますが、ガイドラインには1年単位での更新制と記載しているので、継続に関する希望は面談等の中で個別に確認していきたいと考えています。 なお、民間クラブやかこ☆くらなど、どの活動に参加するかは、お子さまの思いを第一に、ご家庭で話し合ってくださいようお願いいたします。
地域クラブの確保見込みについて	最新の地域クラブの情報について、個別に問い合わせをすれば答えてもらえるという話ですが、問い合わせ窓口も限られる中、現実的ではない。誰でもいつでも見れる形で公開していただけると非常に助かると思うのですが。	中学校施設の調整には時間を要していることから、個別対応は移行期における対応として述べたもので、調整が進み次第、できる限り早く市ホームページ等でお届けできるように考えています。

種別	質問	回答
地域クラブの確保見込みについて	団体を募集する中で、生徒から「こういった活動をしたい」と要望があった場合に応えられる環境はありますか。また、そういった要望を訴えていく相談窓口はどこが担うのですか。	保護者説明会終了後、小学４年生から中学１年生を対象にニーズ調査を実施するため、その結果に応じて地域へ呼びかけていく予定です。 生徒、保護者からの相談や地域クラブからの相談を受け付ける窓口は市に設置する予定です。 また、市内のスポーツ協会や文化連盟向けの説明会を実施済みであり、今後スポーツクラブについても説明会を予定しています。また、それらに所属していない団体からも地域クラブの立ち上げにかかる相談を受けていますが、それら団体向けの説明会も今後予定しています。
地域クラブの確保見込みについて	9月から募集を始めるということですが、積極的に地域クラブを作ってほしいというような働きかけをしていますか。	市としてもできる限り地域クラブが多く立ち上がるよう確保を進めていきたいと考えています。すでに加古川市のスポーツ協会や文化連盟向けにも説明の機会をもっており、NPO法人の加古川総合スポーツクラブの会議でも地域クラブに関して説明しています。公募を重ねる中で、様々な立場の方に向けて個別に地域クラブの立上げについて協力を求めて行く必要があると考えています。
地域クラブの確保見込みについて	各種目で複数の地域クラブが立ち上がるのですか。また複数ある場合の選択方法は。	本年度の秋から開始する地域クラブの募集のなかでどの程度の応募があるかによりますが、地域クラブの選択は、様々な条件を考慮して各ご家庭で判断いただくことになります。
地域クラブの確保見込みについて	かこ☆くらは中学生向けに新たにクラブを立ち上げるのか、それとも地域の活動に中学生が入っていくこととなるのですか。	どちらの可能性もあると考えています。